

地域の絆と支え合い



鳴子

- 団体名 上川原親交会
- 構成メンバー 上川原地区住民
- 開催場所 上川原生活センター
- 開催頻度 年1回



収穫したコメや野菜を使った手作り弁当

活動内容

活動を始めたきっかけは・・・鳴子温泉上川原親交会では代々「敬老会」と「収穫祭」が地区の大事な行事として行われてきました。ところが、少子高齢化に伴い、敬老会の主催者と招待者（70歳以上）の区別がつかなくなってしまったのです。

そこで、2つの催しを1つにし、「秋を楽しむ会」として、年齢に関係なく、乳幼児から高齢者まで一堂に集まり楽しい一日を過ごそうと考えました。

毎年、秋の収穫が終わった後に、その年の役員が集まり、文化部を中心に活動内容を決めています。

温泉地なので場所を旅館に移したり、仕出し弁当をとったりしましたが、最近は地区の生活センターを利用し、弁当も収穫したコメや野菜を使って、手作りを心がけています。

歌ったり、踊ったり、ゲームをしたり、余興や景品の抽選会も楽しみの一つになっています。また、集合写真の他に、出席者一人ひとりの顔写真を撮り、その場でプリントしてプレゼントするというのも大変喜ばれています。

これからの抱負

社協の方が集合写真を見て、「社協の行事に参加されない高齢者の方が沢山参加している」と感心していました。震災を経験した今だからこそ、お互いの無事や近況を報告し合い、親睦を深め、地域で支え合おうと思っています。

主催者側もだんだん高齢化してきました。次の世代にどのように呼びかけたら協力してもらえるか、どのような内容にしたら魅力ある行事になるか、知恵をしぼっていかねければと日々考えております。

田尻

- 事業名 沼木諏訪福祉部・元気ふれあい塾
- 構成メンバー 行政区長、生涯学習部長、福祉部長、民生委員、ボランティア、地域住民等
- 開催場所 沼木生活センター
- 開催頻度 元気ふれあい塾 年10回
(第3火曜日)
福祉部事業 年3回

活動内容

「元気ふれあい塾」は、現在塾生が14名おり、30名のボランティアが3名ずつ当番制で参加し、活動サポーターによる歌や体操、ゲーム、お手玉、カレンダー、折り紙、七夕飾り作り等、また、講師を招いての健康講話等、高齢者の健康と生きがいづくりを目的に実施し、参加される皆さんに「いつも楽しみにしています」と好評をいただいております。

福祉部事業は、地域の70歳以上の方のふれあいの集い、敬老会、ボランティア反省会等、健康講座、栄養講座等の各種講話と併せて、会食しながら歌や踊り等のレクリエーションで地域の高齢者の皆さんの楽しい集いの場となっております。

これからの抱負

高齢者の介護予防活動の一環として、「高齢者の集い」の交流を大切にしながら、地域内の情報の交換、収集の場として、また、高齢者の健康と生きがいづくりのために、参加して良かった、楽しかったとの声を力に、地域のみんでより良い地域づくりを目指していきたいと思っております。



● スコップ三味線

～福祉部事業～



● 市出前講座
「審判商法対処法」